

2024年4月19日

## SUBARU と AMD、ステレオカメラと AI 推論処理を融合する SoC 設計に関する協業を開始

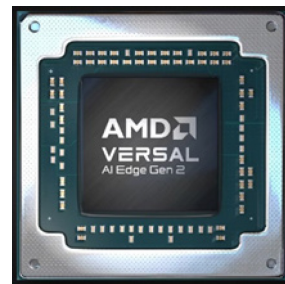
株式会社 SUBARU (東京都渋谷区 代表取締役社長: 大崎 篤 以下、SUBARU) は AMD (カリフォルニア州サンタ・クララ 会長兼最高経営責任者 (CEO): Dr. Lisa T. Su) と、2030 年死亡交通事故ゼロ\*1 実現に向け、ステレオカメラの認識処理と AI 推論処理を融合し最適な判断結果を出力可能な SoC の最適化に関する協業を開始することを発表しました。

SUBARU は、AMD にて発表された Versal™ AI Edge Series Gen 2 を採用し、同社とともに最先端の AI 推論性能や超低遅延な演算処理を低コストで実現するため、SoC 最適化に向けた回路設計を開始します。当社が長年培ってきたステレオカメラの認識処理にさらなる性能向上を合わせ、2020 年代後半の次世代 EyeSight に搭載することを目指します。

SUBARU は、運転支援システム EyeSight に代表される「予防安全」を始め、「0 次安全」「走行安全」「衝突安全」に「つながる安全」を加えた総合安全思想に基づき、車両を開発しています。今後もこれらの注力領域をさらに強化することで、2030 年死亡交通事故ゼロの実現を目指します。



右: SUBARU 執行役員 CDCO 柴田英司  
左: AMD SVP and GM, Adaptive and Embedded Computing Group Salil Rajee



AMD Versal™ AI Edge Series Gen 2

\*1: SUBARU 車乗車中の死亡事故および SUBARU 車との衝突による歩行者・自転車等の死亡事故ゼロを目指す。